

介護情報基盤について

1 概要

利用者本人、市町村、介護事業所、医療機関といった関係者が利用者に関する情報を共有、活用できる介護情報基盤が整備され、**これまで紙を使ってアナログにやりとりしていた情報を電子で共有することで、業務の効率化（職員の負担軽減、情報共有の迅速化）**が図られます。

さらに、今後、介護情報基盤に蓄積された情報を活用することにより、**事業所間及び多職種間の連携の強化、本人の状態に合った適切なケアの提供など、介護サービスの質の向上**が図られます。

これまで分散していた情報をひとつに集約し、サービス間を連携します。
介護に関わる人たちのやりとりや手続きをより良いものにする仕組みです。



大きな3つの価値

介護情報基盤の導入で介護事業所が実現できる価値を3点にまとめました。

①いつでも情報を確認



介護事業所職員やケアマネジャーが、要介護認定に必要な情報や、ケアプラン作成に必要な情報などをタイムリーに確認できます。

②やりとりの負担を軽減



給付に必要な情報をデジタル上で確認できるため、利用者・家族に情報を探していただく依頼をしたり、市町村へ問い合わせいただいたりする負担が減ることが期待できます。

③質の高いケア



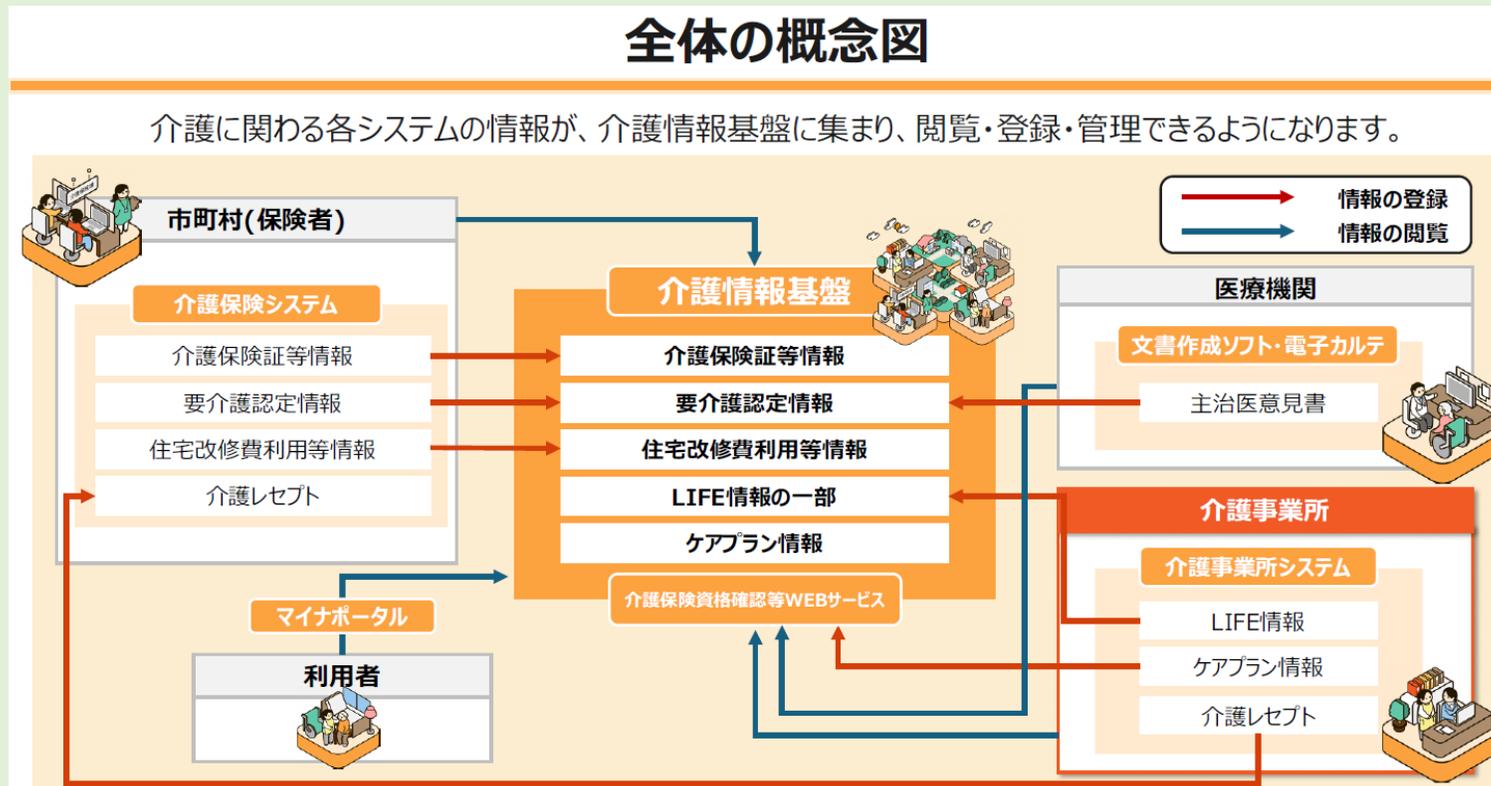
介護に関する情報収集が効率化されることで、本来的な業務に集中できるようになり、介護を受ける人にさらに寄り添ったサービスを提供できます。

(出典：介護情報基盤ポータル 公益社団法人国民健康保険中央会)

介護情報基盤について

2 全体の概念図

- 介護事業所は、介護保険資格確認等WEBサービス（介護WEBサービス）経由で情報を閲覧。



(出典：介護情報基盤ポータル 公益社団法人国民健康保険中央会)

介護情報基盤について

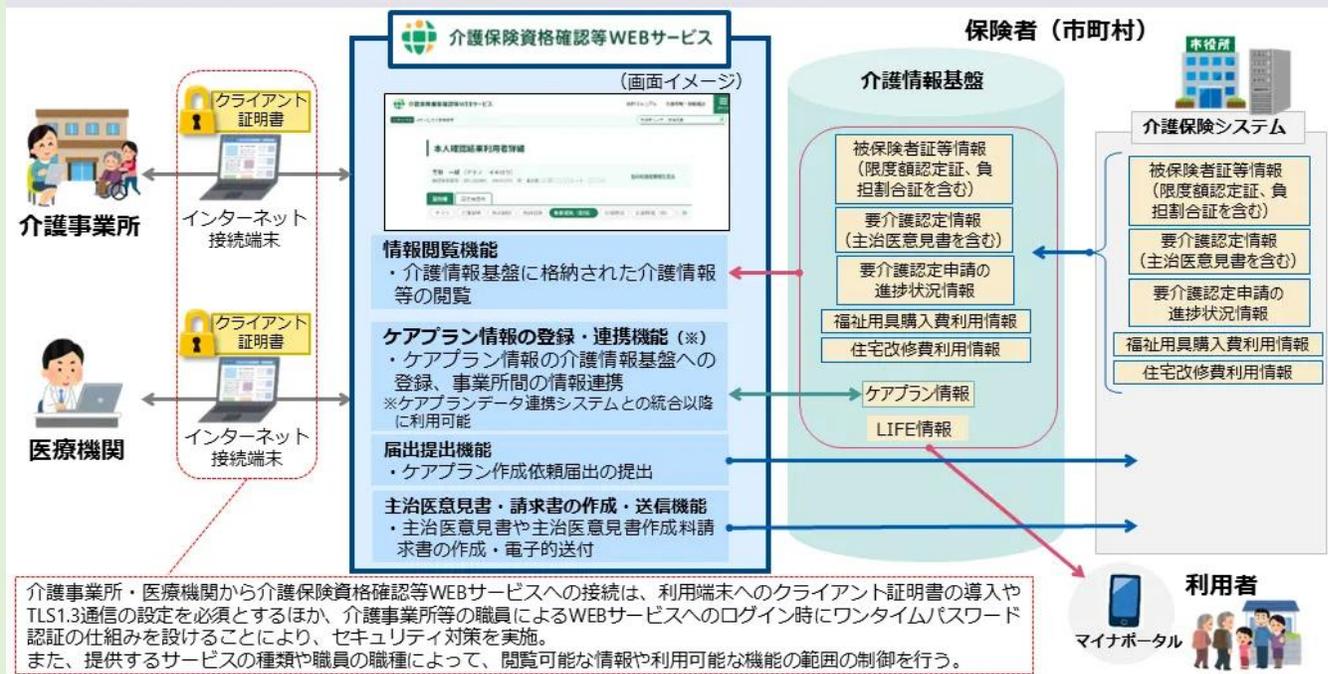
3 介護保険資格確認等WEBサービス（介護WEBサービス）

・介護事業所が介護保険被保険者証等情報や要介護認定情報等をオンラインで確認することができます。

・令和8年4月1日から新しいURLに変更します。新しいURLについては、別途厚生労働省および介護情報基盤ポータルより案内予定です。

介護保険資格確認等WEBサービス（概要）

- ・介護保険資格確認等WEBサービスとは、介護事業所等の職員が、介護事業所等のインターネットに接続した端末上で、介護情報基盤に格納されている介護情報等の閲覧や、介護情報基盤を経由した情報のやり取り等を行うために利用するWEBサービス。
- ・介護事業所等においてサービス提供をしている利用者の本人確認をWEBサービス上でを行い、本人確認を行った利用者の担当事業所である旨を介護情報基盤に登録することで、当該利用者の情報の閲覧等が可能となる。



(出典：厚生労働省ホームページ https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_59231.html#webservice)

介護情報基盤について

4 具体的な業務

① 資格情報等の確認業務

これまで	これから
<p>給付に必要な証書の収集</p> <ul style="list-style-type: none">負担割合証、限度額認定証等、給付に必要な情報を利用者や家族に探してもらう	<p>給付に必要な証書の収集</p> <ul style="list-style-type: none">負担割合証、限度額認定証等、給付に必要な情報は介護保険資格確認等WEBサービスで即座に確認が可能となる <small>(介護保険資格確認等WEBサービスは以下介護WEBサービスという)</small>
<p>証書の更新確認</p> <ul style="list-style-type: none">限度額認定証等、年に1度更新があるものについては、更新の度に利用者の自宅に届く証の内容を確認する必要がある	<p>証書の更新確認</p> <ul style="list-style-type: none">更新された内容も介護WEBサービスで容易に確認が可能となる



② 要介護認定事務

これまで	これから
<p>要介護認定の申請受付</p> <ul style="list-style-type: none">要介護認定の（代行）申請を行う認定調査を行う（更新の場合）	<p>要介護認定の申請受付</p> <ul style="list-style-type: none">要介護認定の（代行）申請を行う認定調査を行う（更新の場合）
<p>認定進捗の確認</p> <ul style="list-style-type: none">認定結果を待ち、遅い場合は電話や窓口等で自治体に進捗確認の問い合わせを行う負担がある	<p>認定進捗の確認</p> <ul style="list-style-type: none">認定審査期間中の進捗確認は介護WEBサービス経由で職員でも確認できる <small>(利用者ご本人もマイナンバー経由で確認可能)</small>
<p>認定結果の受領・確認</p> <ul style="list-style-type: none">利用者の自宅に訪問し、書面で送られてくる要介護度を確認する	<p>認定結果の受領・確認</p> <ul style="list-style-type: none">要介護度が決定したら、介護WEBサービス経由で更新された情報を、すぐ確認できる
<p>認定関連書類の取得</p> <ul style="list-style-type: none">ケアプラン作成に必要な認定関連書類（認定調査、主治医意見書等）を窓口・郵送で受け取り、書類を参考にケアプランの作成を行う	<p>認定関連書類の取得</p> <ul style="list-style-type: none">ケアプラン作成に必要な認定関連書類（認定調査、主治医意見書等）は、介護WEBサービス経由でケアマネジャー等が確認できる <small>(窓口・郵送での受取が不要となる)</small>



③ 住宅改修費・福祉用具購入費の利用状況

これまで	これから
<p>利用状況問い合わせ</p> <ul style="list-style-type: none">電話等で利用状況を確認する必要がある	<p>利用状況問い合わせ</p> <ul style="list-style-type: none">介護WEBサービス経由で、事業所自ら確認することが可能となり負担が減る



④ 居宅サービス計画依頼届出の代行申請等

これまで	これから
<p>本人確認・届出提出</p> <ul style="list-style-type: none">本人確認の上、居宅サービス計画作成届出を書面で自治体窓口へ代行提出	<p>本人確認・届出提出</p> <ul style="list-style-type: none">介護WEBサービスでより手軽に本人確認の上、代行提出が可能となる



(出典：介護情報基盤ポータル 公益社団法人国民健康保険中央会)

介護情報基盤について

5 介護情報基盤ポータルについて

介護情報基盤に関する関係者へ情報提供等を行うため、公益社団法人国民健康保険中央会が、令和7年8月7日に「介護情報基盤ポータル」を開設。

介護情報基盤ポータルでできること

- 1 情報を知る
- 2 マイページを利用する
- 3 助成金を申請する
- 4 お問い合わせをする

「介護情報基盤マガジン」

- vol.1 先行実証に取り組んだ方々のインタビュー
- vol.2 介護情報基盤の概要とよくある質問
- vol.3 助成金の概要と申請の流れ
- vol.4 介護情報基盤の導入準備ガイド

「よくあるご質問」

- ・介護情報基盤について知りたい
- ・導入方法について知りたい
- ・介護情報基盤ポータルについて知りたい など

次の介護を支える「基盤」の
資料も、申請も、問い合わせも、
ここから。



介護情報基盤について

6 介護WEBサービス活用までに流れ

Step① 「介護情報基盤ポータル」のユーザ登録を行う

- ・登録には、電子請求受付システムのID・パスワードが必要です。

Step② 利用する端末等の準備

- ・介護WEBサービスを利用するインターネットが利用可能な端末を用意
- ・カードリーダーの準備
- ※利用者の本人確認において、マイナンバーカードを読み取る際に使用します。

Step③ 各種設定（必要に応じて導入支援事業者の活用）

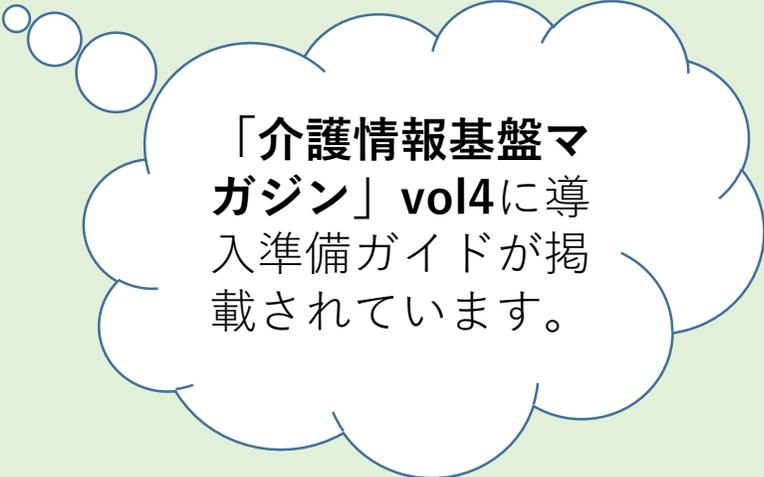
- ・各種アカウントの登録や、電子証明書等の準備
（マイナ資格確認アプリ、介護WEBサービス等）

Step④ 各市町村の対応状況の確認

- ・介護情報基盤ポータルから、各市町村の導入予定を確認

Step⑤ 活用開始

- ・準備ができた市町村から利用可能

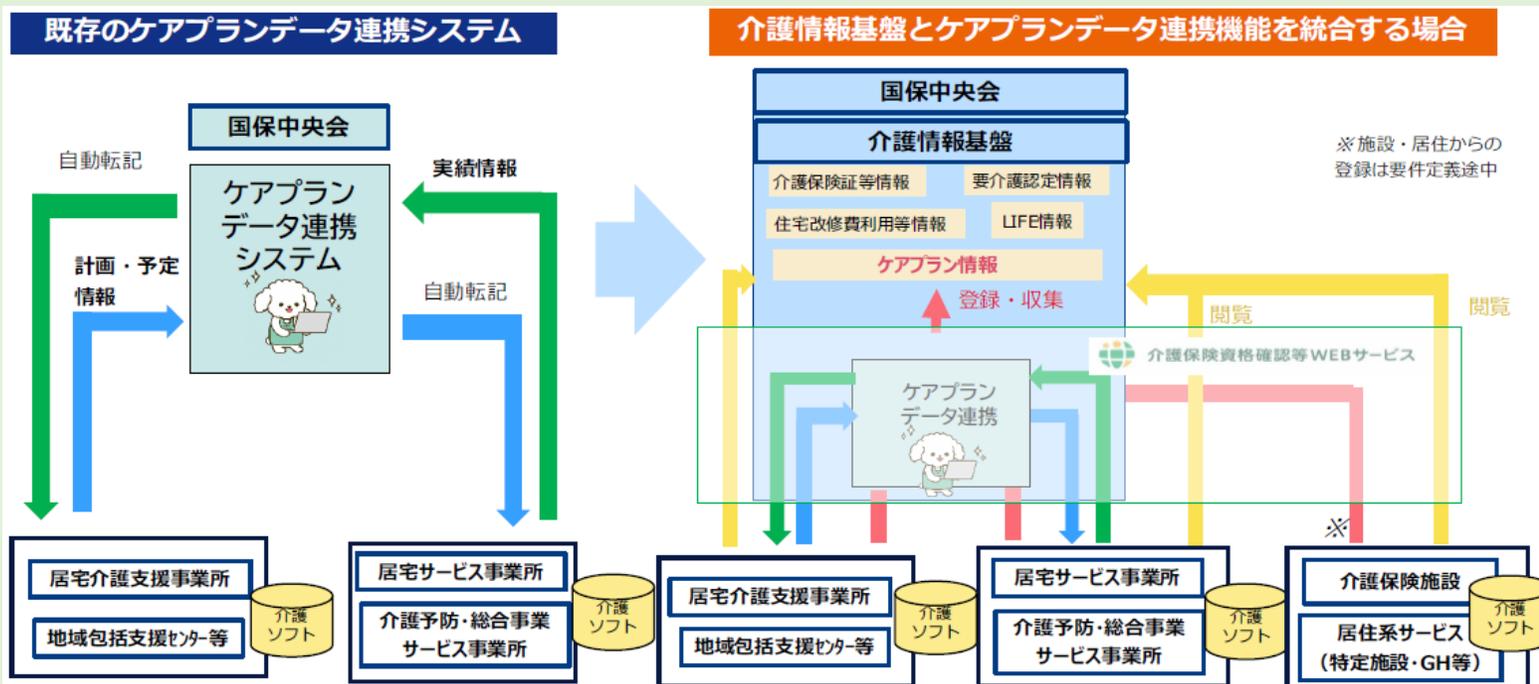


「介護情報基盤マガジン」vol4に導入準備ガイドが掲載されています。

介護情報基盤について

7 ケアプランデータ連携機能の統合について

- 令和8年度下期に介護保険資格確認等WEBサービスに統合予定
- WEBブラウザで利用可能で画面もリニューアル（インストール不要）
- 当面の間は、現行のシステムも引き続き利用可能。



The graphic features the headline 'ひとつになると、いいことふえる。' (When they become one, good things multiply). Below it, text explains that the care plan data linkage system will be integrated with the care information base via the nursing insurance qualification confirmation web service. Key benefits are listed:

- より早くよりスムーズに (Even faster and smoother): Streamlined data exchange and reduced manual work.
- WEBブラウザで利用可能に (Available via web browser): No installation needed, easier to use.
- さらに見やすい画面へ (Even easier-to-see screen): Updated interface for better usability.

 A timeline at the bottom shows the current system being used until the end of the fiscal year, with the new system starting in the second half of the fiscal year 2026. Logos for the National Health Insurance Central Association and the Ministry of Health, Labour and Welfare are included, along with a QR code for the portal and a note about subsidies for implementation.

介護情報基盤について

8 今後のスケジュール

時期	対象	内容
令和8年4月以降	全体	準備ができた市町村から、順次、介護情報基盤を利用可能
令和8年度下期	介護事業所等	ケアプランデータ連携システムが「介護保険資格確認等WEBサービス」に統合
令和9年4月30日	益田市	介護情報基盤の利用開始
令和10年4月1日	全体	全市町村の準備完了 本格運用開始
随時	介護事業所等	介護事業所等のシステム対応（事業所等内の端末等の導入、ソフトの更新等） <small>介護情報基盤を活用した情報共有を行うには、カードリーダー等の導入や介護保険資格確認等WEBサービスのアカウント設定などが必要になります。</small>

介護情報基盤について

9 参考

【厚生労働省ホームページ】 介護情報基盤について

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_59231.html

【介護情報基盤ポータル】

<https://www.kaigo-kiban-portal.jp/>

【厚生労働省ホームページ】 介護保険最新情報掲載ページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/index_00010.html

【介護保険資格確認等WEBサービス（介護WEBサービス）】

※令和8年4月1日から新URLになります。別途、厚生労働省および介護情報基盤ポータルから案内があります。

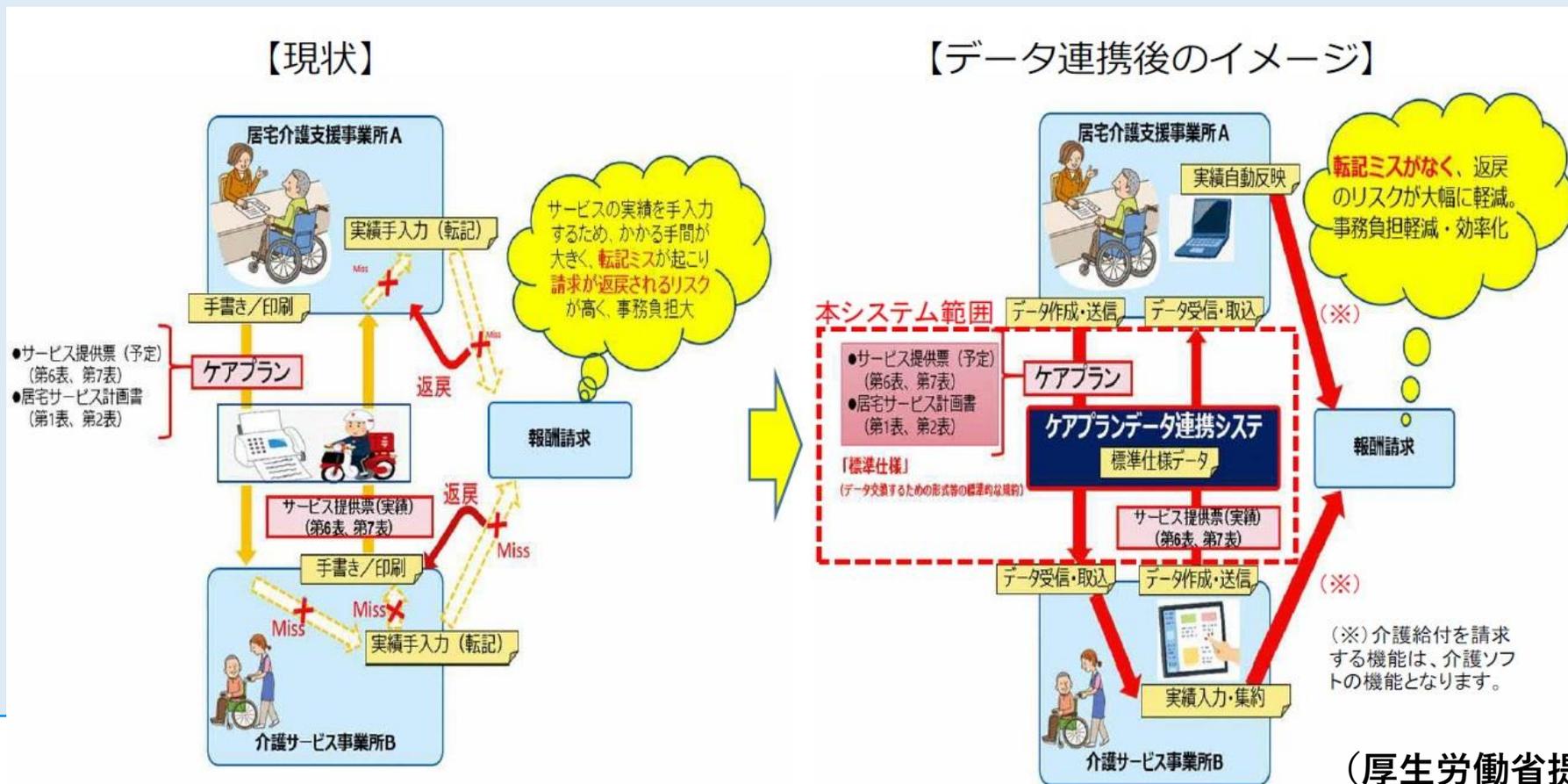
【参考】 介護保険最新情報

vol.1351,1405,1411,1419,1428,1444,1445,1460

ケアプランデータ連携システムについて

1 概要

- 居宅介護支援事業所と介護サービス事業所の間で毎月やり取りされるケアプランのうち、サービス提供票（予定・実績）をデータ連携するためのシステム



ケアプランデータ連携システムについて

2 効率化・効果

■業務の効率化

【期待できる削減効果例】

- ・記載時間の**削減**
- ・転記誤りの**削減**
- ・データ管理による文章量**削減**
- ・介護従業者の負担**軽減**

【効率化による相乗効果例】

- ・利用者支援にかかる**時間増**
- ・ケアの質の**向上**

■費用効果

【期待できる効果例】

事業所がケアプランを送付するために掛かる費用の削減が見込まれます。

- ・人件費の削減
- ・印刷費の削減
- ・郵送費の削減
- ・交通費の削減
- ・通信費(FAX)の削減

(人件費削減を考慮した場合)
約81万6千円/年の削減

(人件費削減を考慮しない場合)
約7万2千円/年の削減

※調査研究のアンケート結果から試算した
全国平均の見込み金額あり、削減費を確約
するものではありません。

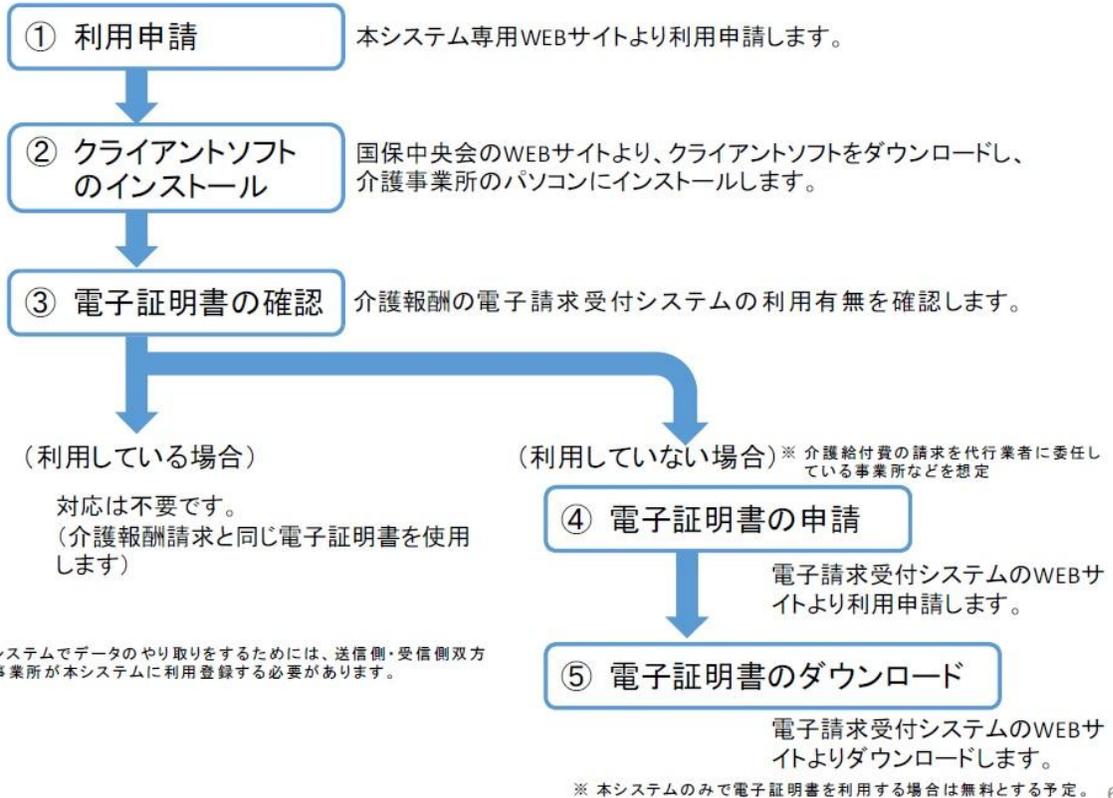
【コスト削減による相乗効果】

- ・介護人材の**新規確保**
- ・介護人材の**定着率向上**
- ・事業所環境の**維持費、改善費の割当額の増加**

ケアプランデータ連携システムについて

3 利用準備

ケアプランデータ連携システムの利用準備

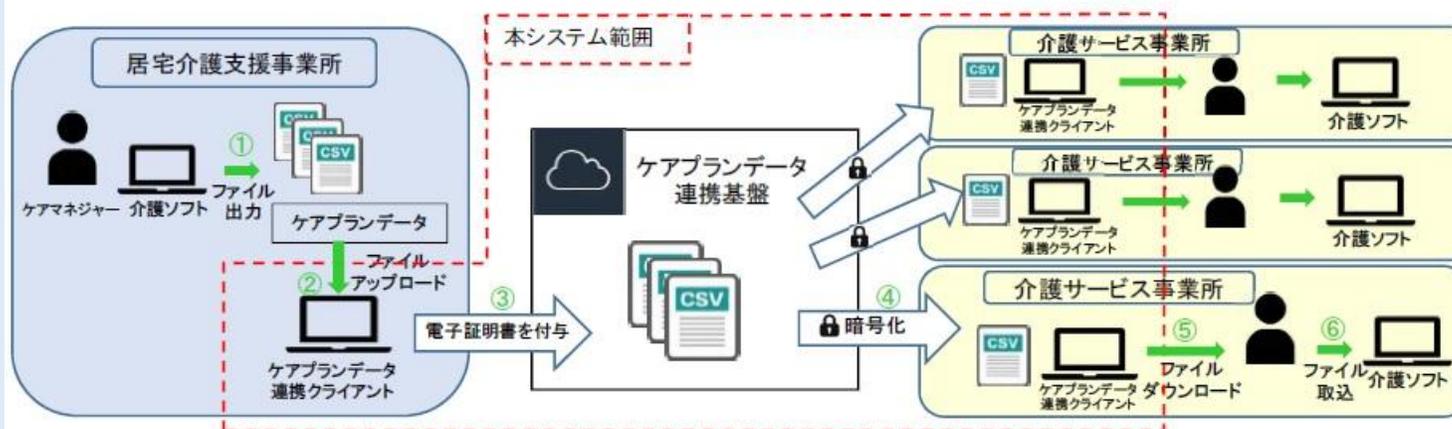


※ 本システムでデータのやり取りをするためには、送信側・受信側双方の事業所が本システムに利用登録する必要があります。

ケアプランデータ連携システムについて

4 業務フローについて

【ケアプランデータ(予定)の連携 業務フロー図】



【居宅介護支援事業所】

- ① 介護ソフトにてケアプランデータ予定ファイルを作成、CSVファイルとして出力(保存)します。
- ② 出力(保存)したケアプランデータ予定ファイルをデータ連携クライアントにアップロードします。
- ③ ケアプランデータ連携クライアントからケアプランデータ連携基盤へ送信します。(※電子証明書は自動で付与されます。)

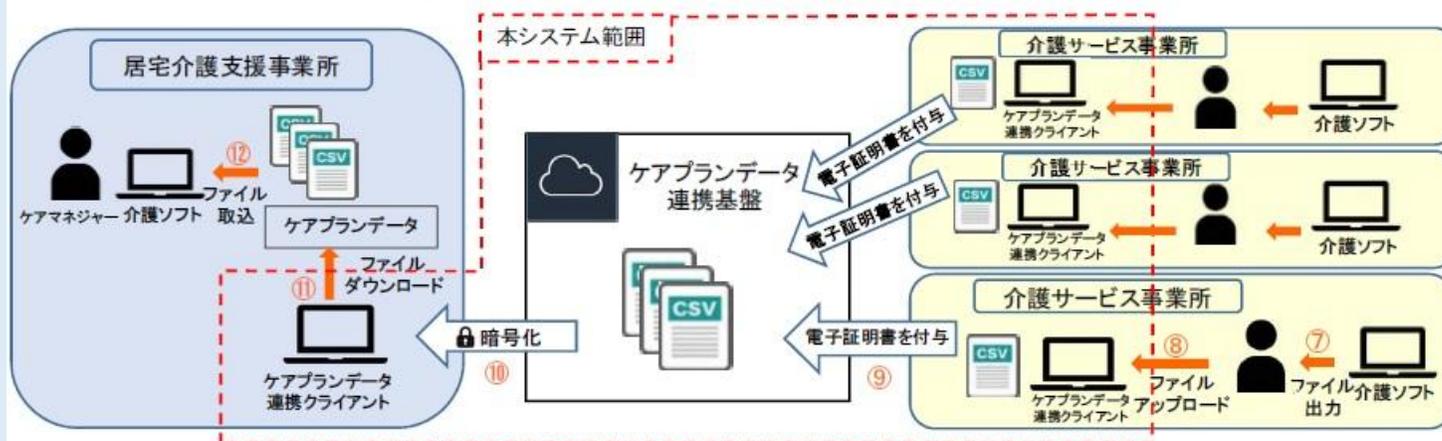
【介護サービス事業所】

- ④ ケアプランデータ連携クライアントを操作し、最新情報を確認し、ケアプランデータ連携基盤から受信します。
(※ケアプランデータ連携基盤からケアプランデータ連携クライアントの通信は暗号化されて通信が行われます。)
- ⑤ ケアプランデータ連携クライアントからケアプランデータ予定ファイルをダウンロードします。
- ⑥ ダウンロードしたケアプランデータ予定ファイルを介護ソフトに取り込み確認をします。

ケアプランデータ連携システムについて

4 業務フローについて

【ケアプランデータ(実績)の連携 業務フロー図】



【介護サービス事業所】

- ⑦ 介護ソフトにケアプランに基づく実績を入力後、ケアプランデータ実績ファイルをCSVファイルとして出力(保存)します。
- ⑧ 出力(保存)したケアプランデータ実績ファイルをケアプランデータ連携クライアントにアップロードします。
- ⑨ ケアプランデータ連携クライアントからケアプランデータ連携基盤へ送信します。(※電子証明書は自動で付与されます。)

【居宅介護支援事業所】

- ⑩ ケアプランデータ連携クライアントを操作し、最新情報を確認し、ケアプランデータ連携基盤から受信します。
(※ケアプランデータ連携基盤からケアプランデータ連携クライアントの通信は暗号化されて通信が行われます。)
- ⑪ ケアプランデータ連携クライアントからケアプランデータ実績ファイルをダウンロードします。
- ⑫ ダウンロードしたケアプランデータ実績ファイルを介護ソフトに取り込み確認をします。

ケアプランデータ連携システムについて

5 料金について

- ライセンス料 年間21,000円（消費税込み）
- 令和7年6月1日から「フリーパスキャンペーン」を実施しており、新規申請・再申請・更新申請した場合は1年間ライセンス料が無料になります。
- 現在、この「フリーパスキャンペーン」が、2026年度下期中に予定している介護保険資格確認等WEBサービスへの統合日まで、延長することとなりました。
- 「フリーパスキャンペーン」は、すべての介護事業所（初めて、利用中、再利用）が対象です。

ケアプランデータ連携システムについて

6 その他（かんたんシミュレーションツールについて）

- 事業所の皆様から『どの程度費用対効果が見込めるか知りたい』『自身の事業所の規模に合うか分からない』といった声を頂いていることを踏まえ、今般、導入後の費用対効果をかんたんに診断できる「[かんたんシミュレーションツール](#)」が作成され、ケアプランデータ連携システムヘルプデスクサポートサイトに公開されました。
- 詳細は、[介護保険最新情報Vol.1204「ケアプランデータ連携システム「かんたんシミュレーションツール」の公開について（情報提供）」](#)をご確認ください。

ケアプランデータ連携システムについて

6 その他（利用状況の確認について）

- 福祉・保健・医療の総合情報サイト「WAM NET」にて、「ケアプランデータ連携システム」の利用状況が掲載されています。全国各地事業所の利用状況が視覚的に確認できます。

益田市利用事業所数（令和8年2月2日現在）

- ・ 6事業所（2法人）

ケアプランデータ連携システムについて

7 参考

【厚生労働省ホームページ】介護テクノロジーの利用促進

<https://www.mhlw.go.jp/stf/kaigo-ict.html>

【公益社団法人 国民健康保険中央会ホームページ】ケアプランデータ連携システム

<https://www.kokuho.or.jp/system/care/careplan/>

【ケアプランデータ連携システムヘルプデスクサポートサイト】

<https://www.careplan-renkei-support.jp/>

【厚生労働省ホームページ】介護保険最新情報掲載ページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureis_ha/index_00010.html

【参考】介護保険最新情報

vol.1109,1139,1163,1168,1177,1186,1204,1234,1287,1320,1351,1358,1361,1374,1377,1383,1389,1405,1419,1445